

獅子舞でつなぐ7町会の連携・活性化事業

泉新町第一町会

目的

獅子舞いの力強い演舞と加賀宝生の優雅な仕舞の共演は、国造神社氏子7町会同士の繋がりを深めると共に、地域の人々に感動を与え、伝統芸能継承の大切さとコロナにも立ち向かう勇気を与えるものである。

概要

実施日 令和4年9月18日

場 所 国造神社拝殿及び境内

参加人数 主催者50人 観客人数 約150人

実施内容 百万石能の会によるうたい仕舞

加賀獅子と加賀宝生の競演

小学生による子供棒振り演技

金沢高校女子バスケットボール部員による薙刀演技

大人による棒振り演技等

実施スケジュール

時 期	内 容	場 所	備 考
7月中旬・随時	実行委員会開催	泉文化会館	実施概要打合せ
7月下旬～	練習開始	国造神社境内	週3～4回
9月18日	獅子舞・能の会共演	国造神社拝殿 及び境内	

事業の運営体制

役 割	人 数	備 考
事業企画	20人	泉獅子保存会役員・氏子町会会長・能の会
練習管理	20人	泉獅子保存会・有志
広報	30人	泉獅子保存会役員・氏子町会役員・有志
当日運営	50人	泉獅子保存会会員・氏子町会役員・有志他

事業実施にあたり工夫した点など

今回、加賀宝生との共演は初めての試みだったため、演舞及び仕舞の内容について何回も打合せ、より良いものを目指した。金沢高校女子バスケットボール部とは、コロナ前における町練りの際の蚊帳持ちから付き合いがあり、令和2年9月22日（火）の国造神社境内での奉納獅子舞の際はオンライン中継を依頼、好評でありました。今年は新たな試みとして薙刀の演舞を依頼したところ、快諾されたため、練習の合間に演舞の指導を行った。

事業の成果

伝統芸能である獅子舞と加賀宝子の共演は、長い歴史の中でも初めての試みであったが、来年以降も続けて欲しいとの要望も多く、大きな成果を上げたと考えている。また、金沢高校女子バスケットボール部部員による薙刀の演舞はきびきびとした動きと、はきはきした声が観客を魅了していました。地域内における獅子舞の演舞者は、少子化、高齢化の傾向にあり、今回のような金沢高校女子バスケットボール部部員の参加など新しい力を得て盛り上げることにより、地域に根付いた伝統芸能が継承されると考える。

